

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		送配水施設管理事業		担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3928
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水道事業基本計画			
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		安全・安心な水道水の安定供給や災害時等のライフラインの確保のため、老朽化した水道管の更新や重要な管路の耐震化を計画的に進める。							
目的 ※何のために		安全・安心な水道水の安定供給や災害時のライフライン確保。							
対象 ※誰・何を対象に		水道施設							
手段 ※どのように		老朽管更新計画に基づき、更新・耐震化の整備を実施する。							
成果 ※何を求めるか		安全・安心な水道水をいつまでも安定供給できるようにするとともに、災害時においても必要な水道水の供給を維持できるようにする。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・老朽管更新業務				・			
		・配水管網整備業務				・			
		・漏水調査・修繕業務				・			
		・送配水管維持管理業務				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	7.62	7.62	6.57	6.17	6.17	5.65
	人件費相当試算※	59,275,980	59,298,840	51,646,770	50,199,120	47,891,016	45,942,116
総事業費試算		59,275,980	59,298,840	51,646,770	50,199,120	47,891,016	45,942,116

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	耐震性の低い管の総延長	目標値	km						
		実績値		438	425	412.1	399.8	397.7	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		老朽管（VP・CIP）実績延長						
	実績値の算出式								
成果指標 1	水道管の更新延長	目標値	km	10	11	11	12	5	5
		実績値		10.68	11.86	11.64	12.27	6.64	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		老朽管更新延長「老朽管（VP・CIP・その他）＋重要給水」の更新延長						
	実績値の算出式								
成果指標 2	重要給水施設配水管工事進捗率	目標値	%				0	8	15
		実績値						8	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		・耐震管への更新延長／非耐震管延長（40.8km）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和2年度策定の老朽管更新計画に基づき、重要給水施設配水管の更新や鑄鉄管・塩化ビニル管の老朽管更新を、計画どおり進捗させた。 また、施工においては、ポリエチレン管の採用範囲の拡大を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	水道管の更新延長や重要給水施設配水管工事進捗率は、計画どおり進捗させることができた。また、ポリエチレン管を採用したことにより、工事費の削減ができた。
			評価者 給配水係 松村 正康

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ポリエチレン管の採用範囲の拡大により、工事費の削減ができた。
			評価者 給配水係 松村 正康

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	老朽管更新計画に基づき、重要給水施設配水管の整備では補助金を有効活用し整備を進めるとともに、耐用年数を超えた鋳鉄管・塩化ビニル管などの耐震性の低い老朽管の更新整備についても継続的に行う。
達成状況及び その効果	重要給水施設配水管更新及び鋳鉄管・塩化ビニル管の老朽管更新ともに、計画どおりに進捗させ、水道水の安定供給を行うことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	送配水施設管理事業	担当課	水道工務課	担当係	給配水係	管理番号	3928
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>老朽管更新計画に基づき、更新・耐震化の整備を計画どおりに執行した。今後も引き続き計画に基づいた整備を進め、水道水の安定供給に努める。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	環境水道部次長兼水道工務課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

